



読字 原田 親

No. 627

2011/1/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都文京区
西新井1-1-1 東1号ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



はじめに

昨年(2010年)は、日中友好協会創立60周年の節目の年でした。岡山支部は、6月の総会及びその後の理事会で9月を協会創立60周年記念特別月間」と位置づけ、9月12日の「中国料理教室」を皮切りに、18日午前中「柳条湖事件の街頭宣伝」午後「中国帰国者との交流会」19日は「中国帰国者の介護説明会」そして26日には「60周年記念岡山集会」など多彩な行事に取り組みました。

時あたかも9月7日に発生した「尖閣諸島の漁船衝突」事件以後、双方マスコミの影響もあり、日中両国民の相互不信が高まり、日中関係は深刻な状態になっていました。私たちはこうした状況にもたじろぐことなく、日中友好運動の歴史をふりかえれば、今こそ協会」の一番である奮闘し特別月間(約200人が参加)の諸行事を成功させました。

創立60年のあゆみから学ぶ

協会は、1950年10月1

日、岡山県井原市出身の内山完造氏を初代理事長として東京で結成され、昨年は、結成60年の年でした。この間、侵略戦争をひきおこした政府の責任を明らかにしつつ、不再戦平和の活動や誤った中国観と偏見を正す国民的な運動に取り組んできました。具体的には、日中国交回復三千万署名、中国残留孤児「訴訟」と帰国者支援、太極拳などの文化活動、柳条湖事件(いわゆる満州事変)の9月

明確にした、私たち友好運動は国家や政府に依存しない自発的な国民運動としてすすめ」そして「友好の対象とする中国は、広範な中国人民大衆であって、特定の政党政派に限られるものではない」との立場を再確認した1年でした。

柳条湖事件80周年
今年(2011年)は、1931年(昭和6年)9月18日に始ま

新年にあたって

日中友好協会岡山支部 事務局長 小林軍治

18日には、街頭での宣伝活動などです。一方で「文化大革命(1966年〜76年)期、中国の大国主義干渉とのたたかい、天安門事件(1989年)への抗議行動なども展開しました。こうした60年の歴史から「日本国民が中国との友好関係を築くには、中国を盲目的に擁護することなく、また偏見に根ざした中国観を持たないことが大切である。」と学んできました。同時に、協会結成趣旨のなかで

つた柳条湖事件(いわゆる満州事変)から80年の節目の年です。この事件は、日本軍(関東軍)が、自ら南満州鉄道の線路を爆破して、中国側の仕業だと宣伝しこれを口実に中国東北部を占領し、翌年事実上自分たちが支配する「満州国」を作

た「15年戦争」の起点となった事件です。この15年にわたる侵略戦争で2000万人を超えるアジアの人々の命を奪い、日本国民も310万人以上が亡くなりました。同時に、この侵略戦争のなかで生じたのが「中国残留日本人孤児」問題などです。



「いまこそ日中の出番」日中友好運動の原点は、日中不再戦です。日本と中国と

た「15年戦争」の起点となった事件です。この15年にわたる侵略戦争で2000万人を超えるアジアの人々の命を奪い、日本国民も310万人以上が亡くなりました。同時に、この侵略戦争のなかで生じたのが「中国残留日本人孤児」問題などです。

は再び戦わぬ今年、7月7日の「盧溝橋事件」から9月18日の「柳条湖事件」までの不再戦平和友好期間の取り組みを強化する必要があります。9月18日には、他の平和団体と共同で学習会など計画したいと思っています。

中国語講座は現在入門クラスから上級まで10クラス。今回は初級クラス(火曜日13時30分〜15時30分 旭公民館)の坪井さんから寄せられた感想文を紹介いたします。

日中不再戦は憲法9条を生かす道

日中岡山支部は、今年も「太極拳」中国帰国者の日本語教室「中国語講座」中国料理教室「中国旅行」などを通して、日中双方が学習し、友好の心情を育み文化交流を深め、日々草の根の相互理解を重視した日中友好を継続していきます。

日中友好協会本部は、2014年までに「二万人の仲間づくり」を目指して拡大運動をすすめています。岡山支部は1月12日の理事会で文化活動や不再戦平和の運動を通して、日中友好協会を知ってもらい、一〇〇人の会員、三〇〇人の準会員を目標に取り組むことを決めました。会員、準会員がそれぞれの多様な「つながり」を生かして、目標達成に向けて手を取り合っ

と努力しましょう。

火曜(昼)の中国語教室から

12月27日、がんばって今まで使っていた部厚い教科書を完了させました。

あとはティータイム。11月の中国語検定で4級合格のKさん、3級合格のBさんへのお祝いを兼ねて「乾杯」。もちよりのコーヒー、紅茶、お菓子などで歓談。漢字による「謎語(なぞなぞ)」などで大笑いの楽しいひとときでした。

新年から使う教科書は「変化する中国」。教育の公平「就職難」「ローン奴隷」老後の危機「など今日の中国のかかえている問題を2ページずつの文で説明したもの。

劉先生が持ってこられた数冊の見本のなかからみんな決めて読む力をつけた、と新しい気持ちの出発です。

坪井あき子

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演・③①

8月15日というのは中国ではあまりやらないし、日本人がどのように敗戦を迎えたかという気持ちというのはよく伝わらないんです。それを漫画にして、中国で出版されたんです。3千部刷って、あちこち広がっているんですが、さらにこの間、話が展開して、原画をコピーしたものを、今年の8月、南京の虐殺記念館で、大展示会があるんです。これも始まって以来のことです。あそこは年間何百万人という人が見に来るらしいですが、そういうところで、日本の漫画家が描いた作品が、百数十点展示されるといって、自体、しかも虐殺記念館とい

うすごい所で、やられる。それが終わると北京の抗日記念館でもやるんです。

さらに北京が終ると、次は瀋陽にある「九・一八記念館」そこでもやるということ、今年いっぱい中国で原画展が回るといって展開になっていきます。「南京虐殺事件」という映画が作られているということもありそうですけれど、まだまだ日中友好というのは色々な課題もあります。中国がどんどん発展していくなかで、生活の格差もある状況ですが、中国人にとって一番の娯楽は映画なんです。それから漫画

つづく



中国式の年賀状を作りました。

日本語教室 黄 艶萍

左記の質問の答えを募集しております。興味のある方、ぜひ寄稿をおねがいいたします。

- ① 対聯の「金虎归山去 玉兔迎春来」の日本語訳。
- ② 切り紙の「福」の字はなぜさかさまになるか。



新年おめでとうございます。私が出した年賀状に返事を頂きました。上の黄艶萍さんの質問への井上進夫さんの解答、1月15日号への感想が寄せられました。杉元先生は、島根大学時代の私の恩師です。

(真田)

寒さはいかがですか？ 山陽側の晴れにたいして、山陰は昨年暮れから降り出した雪は、ついに我が家の駐車場を押しつぶし、車は避難させておきました。残骸撤去後の丸裸のまま寒々と鎮座しています。週末には入試センター試験。杉元にはもう出番はありませんが、なお雪催いのようです。

ところで、「友好新聞」岡山版「楽しく、かつ有効」に読ませていただいています。その中の「2213号1面、囲み記事」。「福」の字が逆さ、「倒」と倒にしている一般的な解釈とは別に、杉元が「客家」を訪ねたときに聞いたのは「新婚さんの家の扉に張っているのは、福、は天空から降ってくるから」との説明が

日中岡山支部の中国語講座

《Eメール》rizhonghanyu@hotmail.co.jp

クラス	開講の曜日と日時	会場
入門クラス	毎月曜日 14時～16時	旭公民館
入門クラス	毎水曜日 18時半～20時半	福祉交流プラザ岡輝
入門クラス	毎木曜日 18時半～20時半	旭公民館
初級(昼間)	毎火曜日 13時半～15時半	旭公民館
初級	毎月曜日 18時半～20時半	旭公民館
初級	毎金曜日 18時半～20時半	岡輝公民館
初級	毎火曜日 18時半～20時半	旭公民館
中級	毎金曜日 18時半～20時半	旭公民館
中級	毎火曜日 18時半～20時半	岡輝公民館
上級	毎月曜日 18時半～20時半	大元公民館

TEL086-272-3010 日中友好協会岡山支部 中国語委員会



福祉交流プラザ岡輝の入門クラスの授業風景

ありました。喜の場合も同様だということでした。倒・到・同様 天から降るにも一理あると思っており、学生にもそのように話してきました。

どのように理解するのが正解かはわかりませんが、天から降るも解釈の一つに加えていただけないかな。ということだけでした。

【追記】中国語の学習は必要で、是非やり通していただきたいと思えます。ただし、言葉・漢字はそれぞれ文化を背負っていると思えます。

したがって、中国語として「オ」と言っても、到・いたる、倒・たおすのの違いを理解すると同時に、その字を赤い紙に書いて逆さに張る」というのは、語学の問題ではなく、文

化の問題だと思えます。天から到るから、逆さに倒している」は、これも文化だと思えます。文字言葉は話し・書くときには当然必須のもですが、その意図するところまで掘り込むには、各地の文化にまで想いを到すことが必要でしょう。

それが「文字文化」ではないでしょうか。特に漢字輸入国の日本人が漢字を使うときには留意していただきたいと思えます。最後に筆者は遼寧省(旧関東州)大連からの戦後引き揚げ者で、現職中は機会がありませんでした。定年後、数年前まで主として沿海各州を十数回訪問しており、言葉(できませぬ)留学生の通訳付きの奥にあるものに興味を持っています。

杉元邦太郎

1月5日号

黄 艶萍さんのクイズの答え

- ① 黄金色の虎(年)山へ帰り行き、美しき白兔(年)新しき年に來たる
- ② 中国旅行をした時、現地ガイドさんに聞いた話です。到る(来る)倒(さかさにする)は、どちらの発音が同じタオで、「福」をさかさむけると「福が来る」という意味です。」とのことでした。

坪井あき子

次回の新聞送付作業は2月1日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

葉林 和 稲小 竹内 深三